

## 令和3年度第1回(第59回)板橋区ユニバーサルデザイン推進協議会 会議録

### 1 開催日時

令和3年8月26日(木)～同年9月2日(木)

### 2 開催方法

書面による会議

### 3 出席者

【委員18名】(敬称略)

八藤後会長、桑波田委員、水村委員、佐々木委員、西端委員、土田委員、堀井委員、アダムス委員、寺田委員、吉田委員、渡辺委員、木村委員、横山委員、竹澤委員、村山委員、上村委員、竹村委員、辻委員 (欠席者なし)

### 4 議題

#### (1)報告事項

①板橋区ユニバーサルデザイン推進計画 2025 実施計画 2020 実績報告について

#### (2)審議事項

①令和3年度ユニバーサルデザインに関する職員アンケート調査について

②上板橋駅南口駅前広場の整備について

### 5 配布資料

〈説明資料〉 第59回板橋区ユニバーサルデザイン推進協議会 説明資料

〈資料 1〉 第10期板橋区ユニバーサルデザイン推進協議会委員名簿

〈資料 2〉 板橋区ユニバーサルデザイン推進計画 2025 実施計画 2020 実績報告

〈資料 3〉 板橋区ユニバーサルデザイン推進計画 2025 実施計画 2020 重点事業 実績等一覧

〈資料 4〉 令和 3 年度ユニバーサルデザインに関する職員アンケート調査について

〈資料 5〉 令和 3 年度ユニバーサルデザインに関する職員アンケート（案）

〈資料 6〉 上板橋駅南口駅前広場の整備について

〈別 添〉 東京都板橋区ユニバーサルデザイン推進条例

〈別 添〉 東京都板橋区ユニバーサルデザイン推進協議会規則

## 6 協議会委員の意見要旨等

※表中の「ユニバーサルデザイン」は「UD」で統一している。

番号	議題項目	協議会委員の意見要旨	区の回答
1	報告事項① (実績報告)	実施計画2020の重点事業の評価について、今後は量的な評価から質的な評価へと展開していただき、区のUD事業をより成熟したものにしていきたいです。例えば、UD事業の総括を区民に向けて積極的にアピールしていただくことや、UD事業に対する区民の評価によって、区のUD施策をスパイラルアップさせていくことも必要だと思えます。	板橋区では、推進計画において定量的な年度別目標を定め、毎年度の進捗状況を確認することで、UDを計画的かつ具体的に推進しております。 ご指摘のような、区民を含めた多様な人たちのご意見や評価を踏まえ、UDを推進していくことについては、実施計画2025の「UD事例集の設置・活用」や「多様な主体との連携体制の構築」などの新規計画事業を取り進む中で、進めていきたいと考えております。
2	報告事項① (実績報告)	取り組みの説明から、事業者・団体や障がい者などあらゆる集団に働きかけたり意見を求めたりする戦術がうかがえます。しかし、浮上しないのが他国籍（日本国籍以外の）住民です。従来は団体などに代表されていないし、障がい者や高齢者と違い対応する行政部署がなく投	実施計画2025において、「多様な主体との連携体制の構築」を新規計画事業に掲げ、地域全体でのUDの推進につなげていきたいと考えております。ご指摘のご趣旨については、今後の施策を展開するうえでの検討課題とさせていただきます。

		票権もないため、大きな数（3月1日で28,877人）になっているのに、その意見やニーズが吸い上げにくい状況です。「連絡会」のようなものがあれば非常に役に立つのではと考えます。	
3	審議事項① (アンケート)	<p>&lt;問5について&gt;</p> <p>(1) 区の発行物（庁内向けを含む）や取り組みを通じて→区の発行物（庁内向けを含む）や職員向け研修などの取り組みを通じて・・・にしてはどうでしょうか。</p> <p>(7) 学校の授業、又は講習会などの参加を通じて→学校の授業と言う意味がわかりづらいです。子どもの学校の授業なら(6)を「子どもの学校の授業など、親族を通じて」とすれば良いと考えます。職員自身の学校と言うなら「講習会・イベント・習い事などの参加を通じて」にしてはどうでしょうか。</p>	<p>(1)のご指摘につきましては、ご意見を踏まえ、文言を修正いたします。</p> <p>なお、(7)の学校の授業については、職員が学生のときに学んだかどうかを確認する趣旨ですので、具体的な表記に文言を修正いたします。</p>
4	審議事項① (アンケート)	<p>&lt;属性に関する設問について&gt;</p> <p>年代・職層・職種とあるが、性別の欄も作ってはどうでしょうか。</p>	<p>ご意見をいただきましたとおり、性別を設問に加えることで、性差による傾向を把握し、具体的な事業に反映させることができるものと理解しております。一方、今回実施するアンケート調査については、UDの実践に向けての課題や現状を概括的に把握し、今後の方向性を整理するための調査となります。今後、性差を把握することで、具体的な事業の実施に効果が見込める段階となった場合には、性別の設問を加えてアンケート調査を実施したいと考えております。</p>

5	審議事項① (アンケート)	<p>&lt;問6・7について&gt;</p> <p>職務でどういう人に対して配慮をしたかを把握した方が 良いと思います。</p>	<p>ご指摘のように、具体的な対象を把握することの重要性は 認識しております。一方で、設問が多くなることで、回答し にくい状況も想定されますので、今後、配慮の対象者を明 らかにした上で事業を推進していく段階となった際には、 設問に加えさせていただきます。</p>
6	審議事項① (アンケート)	<p>毎年度アンケートをとっているということなので、「あな たの職場でどの程度UDが進んだかと思うか」という設問 を入れてもいいと思います。</p>	<p>ご指摘の設問については、ある程度職員にUDの実践が定着 していく中で、確認すべきものと認識しておりますので、 今後、調査の設問を見直す際の参考とさせていただきます。</p>
7	審議事項① (アンケート)	<p>板橋区のUDを推進するためには、職員のUD普及と同時 に、区民のUD普及が望まれます。そのための施策をぜひ 進めていただきたいと思います。</p> <p>例えば、板橋区では区民が主体となってUDに取り組んで いる活動がたくさんあると思います。そのような活動に 注目していくことは、区と区民の双方へのUD啓発に繋が ると思います。</p>	<p>実施計画2025の新規計画事業として「UD事例集の設置・活 用」を掲げています。ご意見の趣旨を踏まえ、まずは、区 の事例を掲載したうえで、区民や地域活動団体、事業者等 の活動にも広げていきたいと考えております。</p>
8	審議事項① (アンケート)	<p>例として取り上げられていることが障がい者は身体のみ です。見た目で分かりやすいということもあるのではし ょうが、視覚・聴覚・知的・精神と多様に障がいがある ので他の障がいにも触れてほしいと思いました。そして一 番わかりにくい知的などの例を上げていただくことで実 践にもつながっていくのではないかと思います。(例えば こんなことがあるということが気づきにつながると思 います。)</p>	<p>ご意見を踏まえ、障がいの多様性の理解を促進するため、 例を修正いたします。</p>

9	審議事項① (アンケート)	問5の(4)インターネットに関して、経路がいくつもあるため、有効な回答を得るにはある程度インターネットのどの情報源かを分解することを勧めます。	ご意見を踏まえ、選択肢を修正いたします。
10	審議事項① (アンケート)	資料5のアンケートについて、今回のオリパラに関連する施設整備（特にバリアフリー・UDの側面）の認知度も質問してはいかがでしょうか。今後のUD推進への影響は大きいと考えます。	今回の調査目的は、職員のUDの実践状況と実践にあたっての課題を把握し、職員研修や庁内での啓発につなげていくというところにあります。そのため、ご意見については、その趣旨を踏まえ、UDニュースやUDのタネで取り上げさせていただきます。
11	審議事項② (上板橋)	<p>&lt;バス乗降時に必要なこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス待ちの並び方向の印（足跡など）があると、分かりやすいです。</li> <li>・乗り場のベンチと上屋はあった方が良いと思います。</li> </ul>	いただいたご意見を踏まえ、バス停の整備についてはバス乗降時だけでなくバスを待つ方にも利用しやすいよう、引き続きバス事業者等とも協議し検討していきます。
12	審議事項② (上板橋)	<p>&lt;バス乗降時に必要なこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの屋根（上屋）はあった方が良いと思います。その際、上屋の色は透明が良いと考えます。理由は、上板橋駅は2階、そこから1階を見た時に、透明な上屋だとバスが停まっているかどうかははっきりとわかるからです。</li> <li>・バスの上屋の進行方向前側先頭部には、足元まで上屋と同じ素材でカバーを付けると風雨が並んでいる乗客にかかりにくくなります。</li> <li>・バスの上屋には、行き先を記載すると2階の駅から一目でわかるので親切だと思います。</li> </ul>	<p>&lt;上屋について&gt;</p> <p>バスの上屋については、いただいたご意見を踏まえ、バスの情報が広範囲からわかりやすく、かつ、天候などの様々な状況下で利用がしやすいものとなるよう、バス事業者等とも協議し構造や配置を検討していきます。また、バス利用者の並び方向がわかりやすいものとなるよう工夫して計画していきます。</p> <p>&lt;歩車道の段差について&gt;</p> <p>歩車道の段差については、いただいたご意見を踏まえ、乗降のしやすさだけでなく、安全性も確保した計画となるよう検討していきます。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩車道の15cm段差については、あった方が良いと思います。車椅子の方のバスの乗り降りがスムーズにできます。そして段差があることにより、車が歩道に乗り上げるリスクは回避できます。今回の上板橋駅については、歩車道がしっかり分離されているので、段差を付けても問題ないと考えます。</li> <li>・バス乗り場には、足形か矢印をいくつかつけるなどして、どの方向に利用者が並んだら良いか示すことが肝要です。(整列乗車をきちんと行うことにより、密も避けられると考えます)</li> <li>・バス乗り場のベンチは椅子の部分を折り畳み式にしてはどうでしょうか。(混雑時は邪魔になるので畳み、通常時のみ使用するなど)</li> </ul>	<p>&lt;ベンチについて&gt;</p> <p>ベンチについては、いただいたご意見を踏まえ、通常時の利用だけでなく、混雑時での利用のしやすさも含め、設置の有無やその構造を検討していきます。</p>
13	<p>審議事項② (上板橋)</p> <p>&lt;タクシー・福祉車両の乗降時に必要なこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー・福祉車両バスの屋根(上屋)はあった方が良いと思います。その際、上屋の色は透明が良いと考えます。理由は、上板橋駅は2階、そこから1階を見た時に、透明な上屋だとタクシー・福祉車両が停まっているかどうかははっきりとわかるからです。</li> <li>・タクシー・福祉車両バスの上屋の両端は足元まで上屋と同じ素材でカバーを付けると風雨が並んでいる乗客にかかりにくくなります。こちらの車両を使用する乗客は高齢者や子連れ、車椅子の方々が主になると思うので、その配慮が必要であると考えます。</li> </ul>	<p>&lt;上屋について&gt;</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、タクシー・福祉車両の待機状況が広範囲からわかりやすく、かつ、天候などの様々な状況下で利用のしやすいものとなるよう、タクシー事業者とも協議し構造や配置を検討していきます。</p> <p>&lt;歩車道の段差について&gt;</p> <p>歩車道の段差は、いただいたご意見を踏まえ、円滑に乗降ができるように配慮した計画となるよう、タクシー事業者とも協議し検討していきます。</p> <p>&lt;乗り場のスペースについて&gt;</p> <p>福祉車両乗り場については、駅側に配置し比較的スペース</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩車道の段差は乗降をスムーズにする為に必要であると考えます。</li> <li>・タクシーに関しては、乗り場と降り場を分けたのはとても良いと思います。</li> <li>・福祉車両は車からスロープが出るのでスペースの確保が必要だと思えます。</li> </ul>	<p>のある箇所に配置しています。付近における植栽などの配置計画にも注意し、車いすの方が安全に利用できるよう引き続き検討していきます。</p>
14	審議事項② (上板橋)	<p>&lt;バス乗降時に必要なこと&gt;</p> <p>バス乗り場は行き先が漢字で書かれることも多くわかりにくいです。少なくとも乗り場にはアラビア数字などのシンプルな表示を付けて目立たせるようお願いしたい。方面も特定できる範囲で分かりやすく、大きく表示してほしいです。</p> <p>乗り場の図を一箇所の標識板に示してほしいです。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえて、バスの行き先情報等が単純明快で誰にでもわかりやすいものとなるよう、バス事業者等とも協議し、今後検討していきます。</p>
15	審議事項② (上板橋)	<p>&lt;バス乗降時に必要なこと&gt;</p> <p>&lt;タクシー・福祉車両の乗降時に必要なこと&gt;</p> <p>子どもを連れてバスに乗る時のことを考えると、ベンチと上屋はあったほうがよいと感じます。特に雨天時などは、乗る時にレインコートを脱がせたり、バスが来てからでは慌ただしくなるので、屋根のあるところで準備を済ませておきたいです。その際、荷物を置くためベンチがあると助かります。</p> <p>タクシーの乗降時についても同様です。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、バス・タクシー・福祉車両乗り場のそれぞれにおいて、天候などの様々な状況下でも利用がしやすいものとなるよう、バス・タクシー事業者等と協議し構造や配置を検討していきます。</p>

16	審議事項② (上板橋)	<p>&lt;バス乗降時に必要なこと&gt; &lt;タクシー・福祉車両乗降時に必要なこと&gt;</p> <p>上板橋駅構内から広場を通り川越街道まで続く誘導ブロックの敷設を前提として、意見を述べます。</p> <p>バス乗降場並びに、タクシー・福祉車両、2種類の乗降場の種類の乗車場については、駅構内から川越街道までの切れ目無く敷設された誘導ブロックに分岐を設けて視覚障がい者をそれぞれの場所まで導けるようにすること。乗車場所には必ず警告ブロックを敷設することを希望します。</p>	<p>現在の計画では、上板橋駅から川越街道まで誘導ブロックを敷設する計画としており、各乗り場に対しても分岐し敷設する計画としています。また、ご意見のとおり、各乗り場や横断歩道などの歩車道の境目に対して注意喚起が必要な箇所には、警告ブロックを敷設する計画としています。いただいたご意見を踏まえ、引き続き安全を確保した計画となるよう検討していきます。</p>
17	審議事項② (上板橋)	<p>&lt;バス乗降時に必要なこと&gt; &lt;タクシー・福祉車両乗降時に必要なこと&gt;</p> <p>バス乗り場にはベンチ・上屋は必要です。高齢者や障がい者が雨天時乗車する際かさをたたむ作業は健常者にとって何気ない動作でも大変手間がかかります。ゆっくりたたんで乗車できるのでぜひ設置してほしいです。またベンチも高齢者はもとより障がい者（特に下肢）にはあってほしいものです。（帝京病院のバス乗り場にはどちらも設置されています。）同じ理由でタクシー乗り場にも必要です。現在上板橋駅のタクシー乗り場にはタクシーもいませんが乗り場として整備されていません。せめてベンチがあればと思いますが、いつ来るか分からない状況で下肢に障がいがある子どもと待っていることができないため、ときわ台で下車してタクシーを利用しています。</p>	<p>&lt;上屋・ベンチについて&gt;</p> <p>現在、上板橋駅南口に乗り換え機能がなく、大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。新たに整備する駅前広場においては、いただいたご意見を踏まえ、様々な方々が安心・安全かつ円滑に利用できるよう、バス事業者やタクシー事業者等とも協議し、上屋やベンチの設置を検討していきます。</p> <p>&lt;乗り場の表示について&gt;</p> <p>乗り場の表示については、単純明快で誰にでもわかりやすいものとなるよう、いただいたご意見を踏まえて、バス・タクシー事業者とも協議し、表示内容を検討していきます。</p> <p>&lt;トイレについて&gt;</p> <p>上板橋駅南口にはトイレは設置されておらず、現在の計画でも新しく整備する駅前広場にトイレの整備予定はありません。いただいたご意見を踏まえ、設置の有無について今</p>

福祉車両の乗り場については、さらに大きい上屋を設置してほしいです。リフトはほぼ後ろ、スロープも後ろです。(なかには横もありますが) イメージとしては高速のSAなどです。屋根の向きを変えるなど工夫してほしいです。

それぞれの乗り場の表示について、上屋にあるような小さい文字で視線よりも上だととても見にくいので大きく表示してほしいです。また外国人の方にもわかるようにせめて英語表記もあったほうが良いと思います。その際一緒にピクトグラムも合わせて表示してください。「のりば」という風にひらがなだと誰でもわかります。ベンチは高齢者や障がい者だけでなく少し具合が悪かったりケガをしていたり妊娠中の方などちょっと休めるところがあると駅利用者にとっていいのではないのでしょうか。

こちらの計画図にはトイレがなかったのですが、トイレ利用は駅または駅前ビル内を利用するということでしょうか。できれば現在のJR板橋駅のようにロータリーにトイレがあることはとても助かります。

後も引き続き検討していきます。

18	審議事項② (上板橋)	<p>&lt;ベンチ利用時に必要なこと&gt;</p> <p>植栽からすこし離れたベンチの方が、他の既存のベンチをみる限り、清潔感が保たれているように思います。背もたれをつけるのであれば、小さい子が後ろに落ちたり、ものが落ちたりしない程度の間隙だと安心です。また、夏でも利用し易いよう、日陰になる場所にあると1年を通して利用できそうです。</p>	<p>ベンチについては、清潔感があり利用しやすいものとなるよう、将来的な維持管理も考慮し、設置の有無を検討していきます。また、いただいたご意見を踏まえ、誰でも安全・快適に利用ができるよう、ベンチの構造や配置については十分配慮します。</p>
19	審議事項② (上板橋)	<p>&lt;ベンチ利用時に必要なこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所は【計画中の駅前広場】の地図の左上空いているところが良いと思います。</li> <li>・ベンチは子どもがひっくり返るリスク回避を考え、背もたれがあった方が良く考えます。</li> <li>・肘掛けは2席ずつ付けたらどうでしょうか。付けないとベンチで昼寝する人がいて治安上良くないと思います。1席ずつ付けると、赤ちゃんのおむつ替えができなくなってしまいます。</li> <li>・スマホ検索で滞留する若者が見られるので、歩道で立ち止まらないように、フラッと立ち止まれる場所を作ってはどうか。</li> <li>・植栽は緑の癒しとしては最適だが、死角をつくることなく、見通し良くつくるのが肝要です。</li> </ul>	<p>&lt;ベンチについて&gt;</p> <p>ベンチについては、いただいたご意見を踏まえ、様々な方が安全・快適に利用ができるよう、構造や配置について十分配慮し検討します。</p> <p>&lt;植栽について&gt;</p> <p>新しく整備する駅前広場にはバス・タクシー乗り場やエレベーターなどの複数の施設を整備する予定です。それらの施設を利用する方の障害とならないよう、いただいたご意見を踏まえ、植栽の配置や大きさを検討し、見通しが良く利用しやすい駅前広場となるよう計画していきます。</p>

20	審議事項② (上板橋)	<p>&lt;ベンチ利用時に必要なこと&gt;  一部の人たちに占領されることのないよう、昼夜問わず、誰もが気軽に利用できる明るく快適な場所となってほしいです。具体的には、ちょっとひと休み、荷物の整理などで利用できると良いと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、新しく整備する駅前広場は、地域の方や駅を利用する方など様々な方が利用することとなります。いただいた意見を踏まえ、誰でも安全・快適に利用できるよう検討していきます。</p>
21	審議事項② (上板橋)	<p>&lt;ベンチ利用時に必要なこと&gt;  ベンチの設置は是非検討していただきたいです。また、背もたれや肘掛けも利用ニーズは高いと思います。特に高齢者や障がい者のニーズは高いと思います。  加えて、夏の日差しや気温、集中豪雨などの気候環境に対しても注意を払っていただきたいです。例えば、木陰や上屋は気候対策になると思います。</p>	<p>ベンチについては、様々な利用方法を想定し、背もたれや肘掛けなどの構造を検討するとともに、いただいたご意見を踏まえ、日差しや雨などにも配慮した配置となるよう検討していきます。</p>
22	審議事項② (上板橋)	<p>駅の出入口には漢字や特定地名に頼らない、シンプルなネーミングと表示をお願いしたいです。アラビア数字や通じやすい方位（北・南）を勧めます。  ナビゲーションや待ち合わせなどの助けになるような目印を設けてほしいです(例：八千公の像)。</p>	<p>駅前には案内標識を設置する予定となっているため、その標記が単純明快で誰にでもわかりやすいものとなるよう、いただいたご意見を踏まえて、今後検討していきます。また、待ち合わせ場所が一目でわかりやすいものとなるよう工夫して計画していきます。</p>
23	審議事項② (上板橋)	<p>上板橋駅南口駅前広場の整備について、現地を見させて頂きましたが、コロナ禍により莫大な費用を投下し区の財政困難の中で整備、実現することが可能か否かしっかりと検討してほしいと思います。</p>	<p>上板橋駅南口地区は、木造家屋が密集し、狭い道路も多く、その防災性の向上が喫緊の課題となっております。加えて、南口駅前には接続する道路が狭く、かつロータリー機能がないため、バス・タクシー等への乗り換えができず、交通結節機能の向上が課題ともなっています。現在の計画は、これら喫緊の課題を地域の方々とともに長年にわ</p>

			たり検討し、積み上げてきたものです。今後の新型コロナウイルス感染に係る状況や、区の財政状況を勘案しながら、引き続き本計画を進めていきたいと考えています。
24	審議事項② (上板橋)	この地区は木造の戸建ての多い地域です。それに対して東街区の再開発ビルのボリュームが、近隣環境へ良い影響を与えない様に思いますが、「魅力あるまちの実現」と矛盾しているのではないのでしょうか？	ご意見のとおり、上板橋駅南口地区は木造家屋が密集しており、防災性に課題のある地区となっております。区としては再開発事業を契機として、その課題を解決し、災害に強い都市づくりを行うとともに、にぎわいを形成することで、安全で、利便性が高く、魅力あるまちの実現に向けた取り組みを進めていく考えです。
25	その他	膨大な資料を送付して頂きましたが関係者のご努力に敬意を表します。が、高齢者にとりまして正直資料を読み、内容を完全に把握することは辛いです。	今回、書面による会議での開催となったため、説明資料が膨大になり、誠に申し訳ございませんでした。次回以降、ご希望の方には、事前に対面で職員から説明する機会を設けさせていただきます。
26	その他	UDやバリアフリーの推進にあたり、計画や理念は大切ですが、現場を踏まえたものになっているのでしょうか。最も大切なことは、様々な人の困りごとを実際に体験し、事業に反映させて、実践することと考えます。現場をもっと大切にしてほしいと思います。	ご指摘のとおり、UDの推進には、様々な人の困りごとを理解し、共有することが不可欠であると認識しています。令和3年度からの実施計画2025の推進にあたっては、「板橋区ユニバーサルデザインガイドライン」に基づき、多様な人たちのご意見をもとに、UDの実践について現場を踏まえながら、区、区民、地域活動団体、事業者間での取組につなげていきたいと考えております。

7 所管課 福祉部障がい政策課ユニバーサルデザイン推進係：03-3579-2252